

# 壁掛式便器

商品の機能が100%発揮されるよう、本説明書の内容を十分ご理解のうえ正しく施工してください。

## ●安全上のご注意

### 安全のために守ってください!

部材を安全に取り付け、使用時の事故を回避するための注意事項をあげさせていただきます。  
部材の取付前に、この項目をよくお読み頂き、事故のないように正しく取り付けてください。

#### 用語の説明

**警告** ... 「取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う危険な状態が生じることが想定されます。」

**注意** ... 「取り扱いを誤った場合に、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

### ⚠ 警告

固定スタンドの設置、壁パネルの工事が正しく行われていないと、便器を正しく取り付けることができません。

● 便器固定ボルトにぐらつきがないことを確認してください。



● 便器固定ボルトの壁パネル仕上げ面からの出寸法、先端芯々での間隔が正しいことを確認してください。



● 壁パネルが指示通りに正しく開口されていることを確認してください。



※ 無理に取り付けると便器が落下し、ケガをする恐れがあります。

### ⚠ 注意

陶器は割れものです。

● 施工前に輸送中の破損がないことを確かめてください。



● 施工後に施工段階での破損がないことを確かめてください。



※ 破損部でケガをしたり、漏水により家財等を濡らす恐れがあります。

施工後に漏水点検を必ず行ってください。



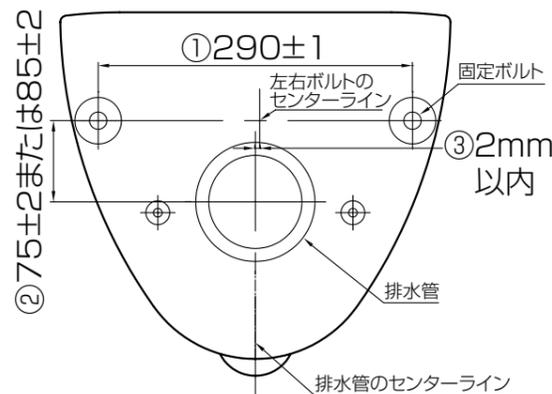
※ 漏水により家財等を濡らす恐れがあります。

## ●施工前のご注意

本商品は、固定スタンドの設置、壁パネル仕上げが正しく行われて初めて取付けが可能となります。再度、次の事項を確認してから施工してください。

確認事項	不具合がある場合の対応
便器固定ボルトにぐらつきがないこと	取付口兼点検口、または、壁パネルをはずして固定スタンドのボルト・ナット類にゆるみがないように締め込んでください。
便器固定ボルトの先端芯々での間隔①が290 ± 1mmとなっていること	取付口兼点検口、または、壁パネルをはずして調節してください。
便器固定ボルトと排水管の高さ間隔②がC-P12P、C-P18PA : 75 ± 2 C-P16P、C-23、C-22 : 85 ± 2	取付口兼点検口、または、壁パネルをはずして、固定スタンドのボルト高さを調整してください。
便器固定ボルト芯と、排水管の芯のズレ③が左右2mm以内になっていること	壁パネルをはずして、固定スタンドの床固定をゆるめ、スタンドごと左右に移動させて調整してください。
壁パネルが指示通りに正しく開口されていること	指示通りに開口もしくは、壁パネル仕上げをやり直してください。
④ワッシャーは壁パネルと同一面となっていること	便器固定ボルトのナットを調整してください。
壁パネルからの便器固定ボルト出寸法は⑤75 ± 1mmとなっていること	壁パネルをはずして固定スタンドのナットを調整してください。
⑥下部固定ボルトは壁パネルと同一面で、ゴム板のみ出ていること	壁パネルをはずして固定スタンドのナットを調整してください。

### 固定ボルトと排水管の位置について (便器背面図)



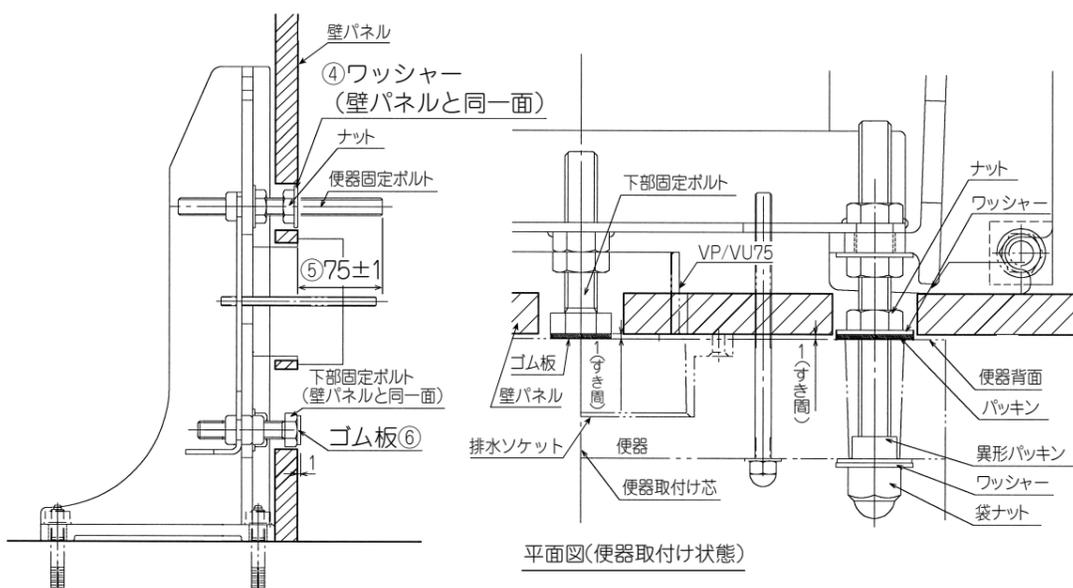
#### ⚠ 注意

排水管と便器固定ボルトの芯ずれは、必ず上下左右とも2mm以内にしてください。漏水するおそれがあります。



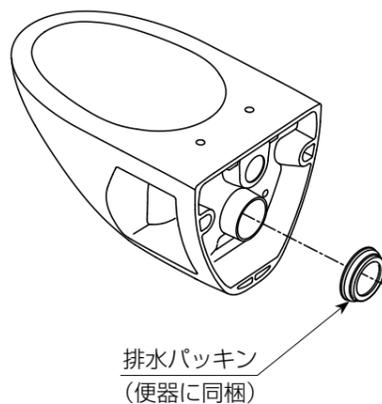
### 【側面図】

### 【上面図】



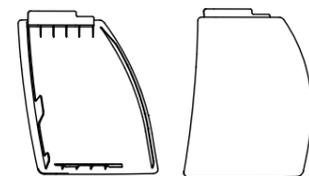
## ●同梱品

### 壁掛式便器



排水パッキン (便器に同梱)

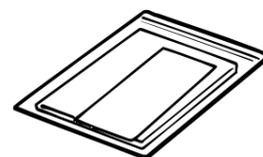
### C-P18PAの場合



サイドカバー (L・R)

### C-23の場合

水勢調整方法説明書



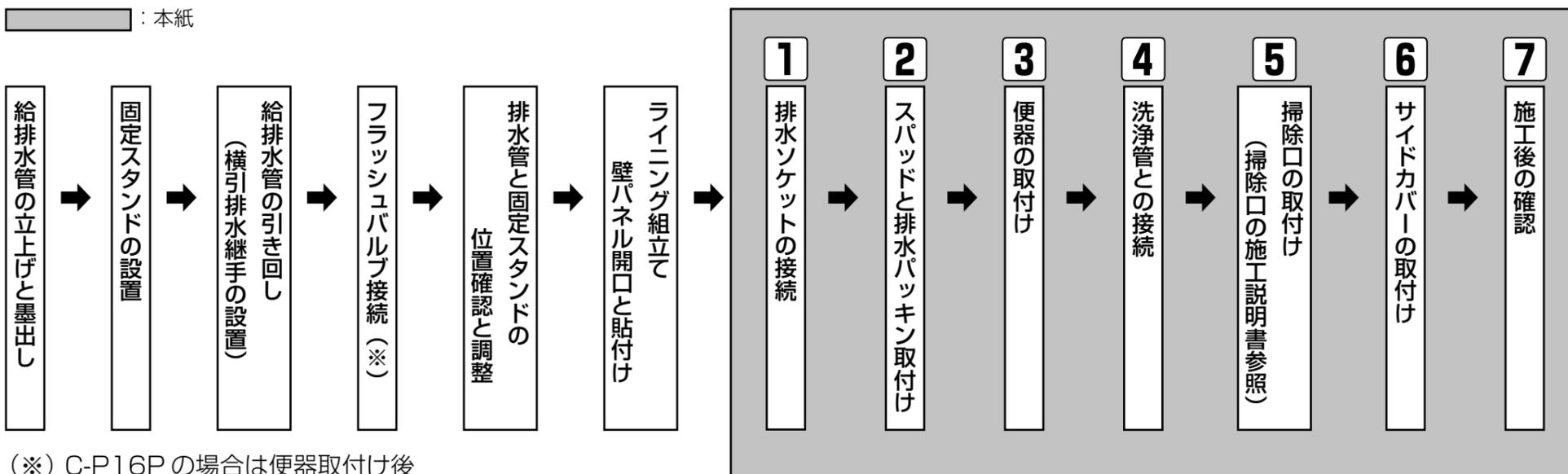
商品・施工方法についてのお問い合わせは、お客さま相談センターまで ナビダイヤル TEL 0570-017-173

受付時間 平日 9:00 ~ 18:00 土・日・祝日 9:00 ~ 17:00 (ゴールデンウィーク・夏期・年末年始の休みは除く)

# ●工事の流れ

固定スタンドを用いた場合の工事の流れは、下の図のようになります。  
 工事区分を事前にご確認の上、それぞれの工事がスムーズに進むよう各工程、納まりを十分検討の上、工事を進めてください。  
 下図の網掛け部分が、本紙に記載されている内容です。

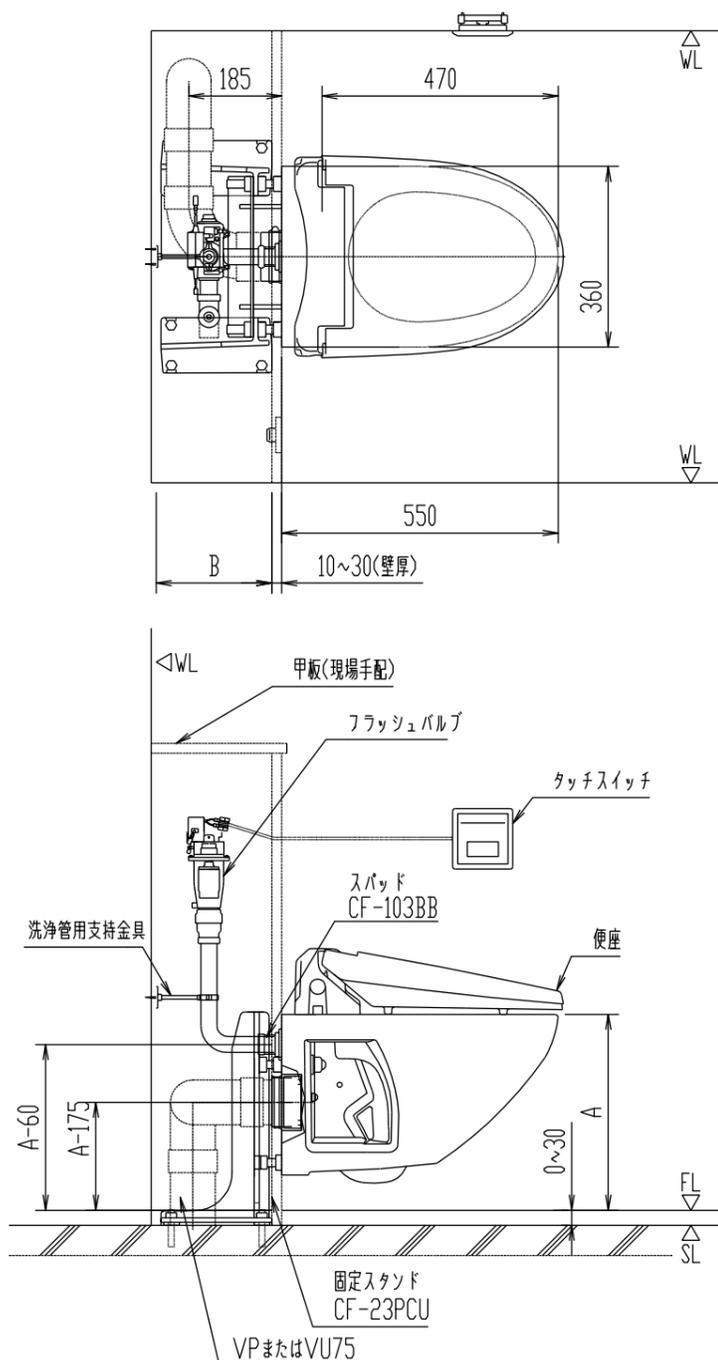
：本紙



(※) C-P16P の場合は便器取付け後

# ●施工完了図

## 給水隠ぺい形（壁給水式）単独配管の場合



### 便器高さ(A寸法)

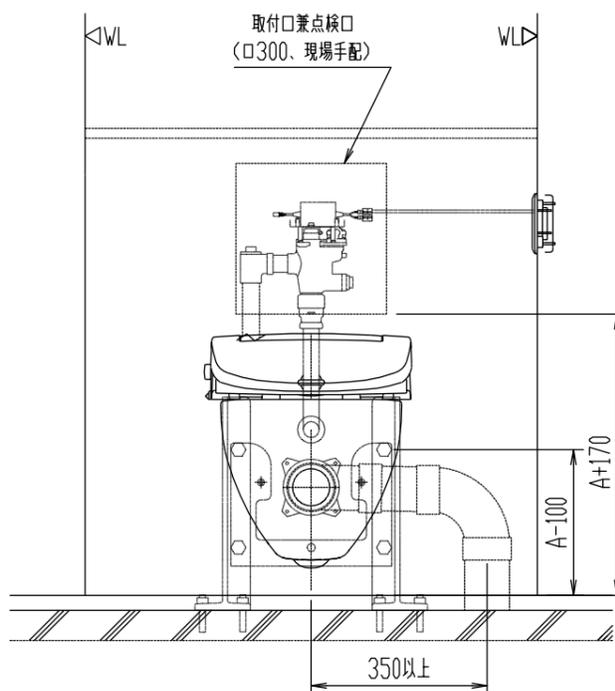
・現場条件、便器の用途に応じ、FLから360~450mmの範囲で設定可能。目安の寸法としては下記の通り。

居住系	一般	360~370mm
パブリック	一般	380~390mm
車いす利用		420mm

### パイプスペース(B寸法)

・パイプスペースは壁厚に応じて、WLから230mm以上で設定可能。施工寸法は下記の通り。

パイプスペース(mm)	壁厚(mm)
230~239	20~30
240~	10~30



# ●施工方法

本紙は給水隠ぺい形（壁給水式）便器を例に説明していますが、給水露出形（上給水式）便器の場合も施工方法は同じです。

## 1 排水ソケットの接続

ライニングを造作する場合	専用ライニングの場合
<p><b>単独配管の場合</b></p> <p>(1) 排水管を壁パネル仕上げ面に合わせて切断します。                      (2) 排水管と排水ソケットを塩ビ用接着剤で接着します。</p> <p>※ 排水ソケットの向きを指示通りに取り付けてください。                      ※ 排水ソケットは前パネルに固定しないでください。</p>	<p>(1) 排水管を専用ライニングのフレーム表面より 15mm 出した位置で切断します。                      (2) 排水管と排水ソケットを塩ビ用接着剤で接着します。                      (3) 排水ソケットに同梱されるサラねじとスペーサーでフレームに固定してください。</p> <p>※ 排水ソケットは、必ず専用ライニング用をお使いください。</p>

**連立配管の場合**

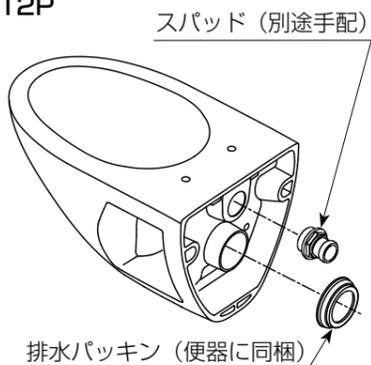
(1) ゴムジョイントを壁パネルから引き出して、排水ソケットを差し込みます。  
 (2) 固定バンドの固定部を切込みに合わせます。  
 (3) 赤色の印が確認できるまで、マイナスドライバーで固定バンドを締め付けます。  
 (4) ゴムジョイントがつぶれたり、引張られていないか確認します。

※ 排水ソケットの向きを指示通りに取り付けてください。  
 ※ 排水ソケットは前パネルに固定しないでください。

## 2 給排水部材の取付け

(1) 便器に排水パッキンを取り付けます。

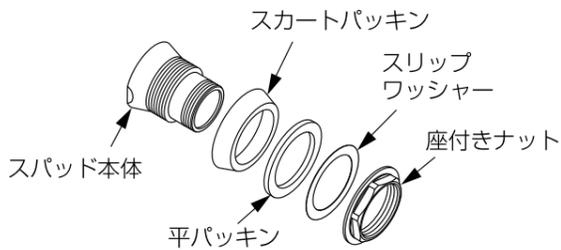
便器：C-P12P



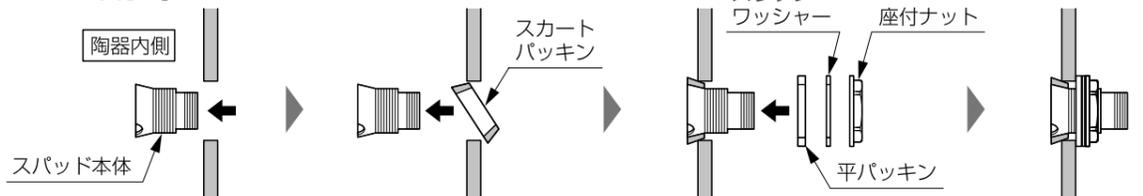
⚠ 注意

排水パッキンは奥までしっかりと差し込んでください。この時によじれないように施工してください。よじれた状態で便器を取付けると漏水、漏気が発生します。

(2) 便器にスパッドを取り付けます。



【スパッドの取付け】



①スパッド本体を入れる

②スカートパッキンを付ける

③ナットを締め付ける

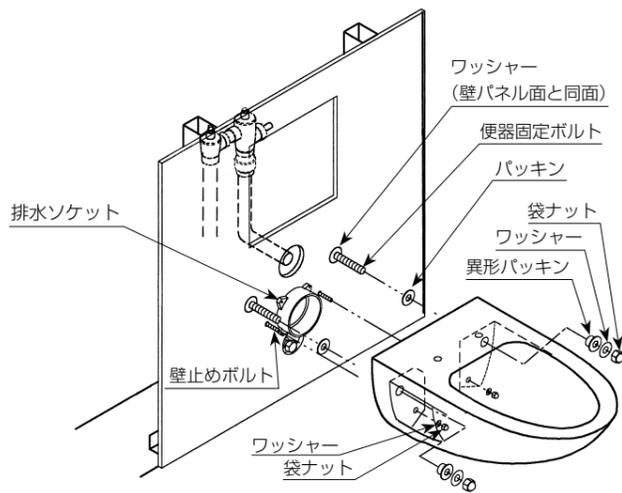
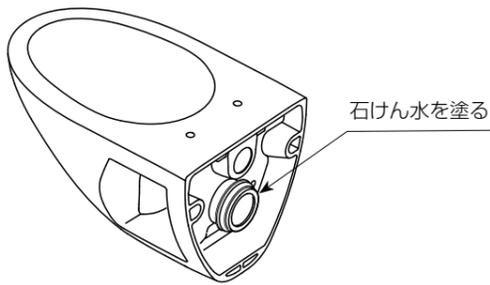
⚠ 注意

スパッドは正しく取り付けてください。スカートパッキンがズレたり締め付けが弱いと漏水します。スカートパッキンを中央に寄せるため、スパッド本体を強く引きながら締めつけてください。指示実行同梱の専用スパッド以外を使用した場合、洗浄管が変形して漏水することがあります。

洗浄管接続ソケットの取付け時まで使用しません。紛失しないよう保管ください。

### 3 便器の取付け

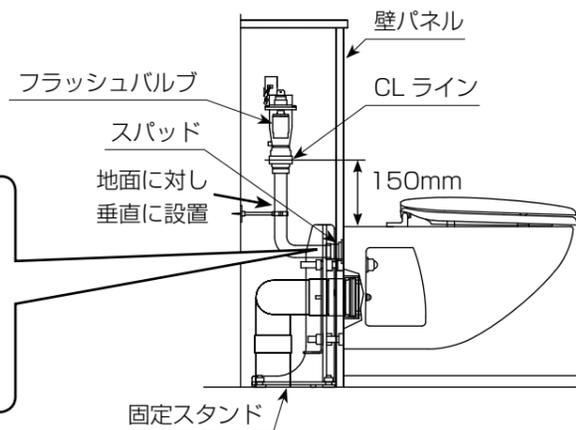
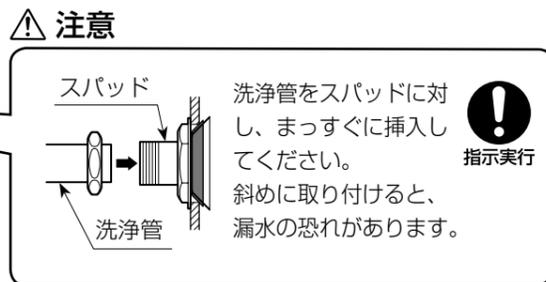
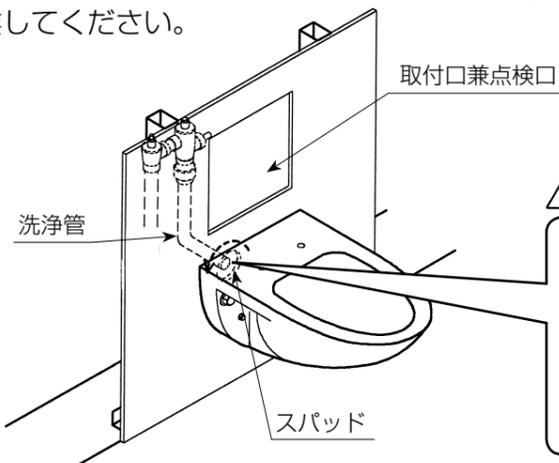
- (1) 排水パッキンの外側に石けん水を塗ります。 (2) 便器を便器固定ボルトと壁止めボルトに差込みます。この時、便器の排水口がソケットに入る事を確認しながら作業をしてください。異形パッキン、ワッシャー袋ナットの順に取り付け、手で締めてから最後に工具で締め付けてください。



### 4 洗浄管の固定

- (1) 洗浄管とスパッドを接続します。接続は取付口兼点検口から作業してください。

- (2) 便器上面からフラッシュバルブのCLラインまで 150mm 以上ある事を確認してください。



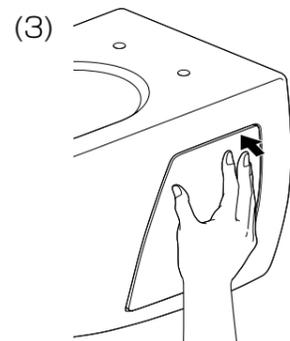
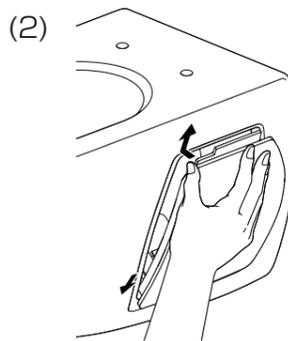
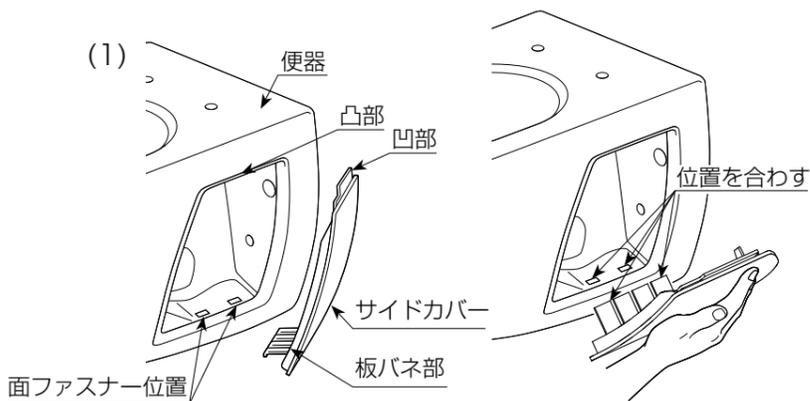
### 5 掃除口の取付け (掃除口付便器の場合)

掃除口を取り付ける際は、掃除口に同梱される施工説明書を参照してください。

### 6 サイドカバーの取付け (C-P18PA の場合、便座取付け後)

- (1) 陶器の面ファスナー位置にサイドカバーの板バネ裏部 (面ファスナー付きの部分) を合わせます。

- (2) サイドカバー凹部が便器凸部に嵌り込む位置までサイドカバーを押し下げます。便器内側へサイドカバーを軽く押し込み、サイドカバーの凹部を引っかかる位置で手を離します。  
(3) 固定されたことを確認し、陶器との隙間がないよう調整してください。



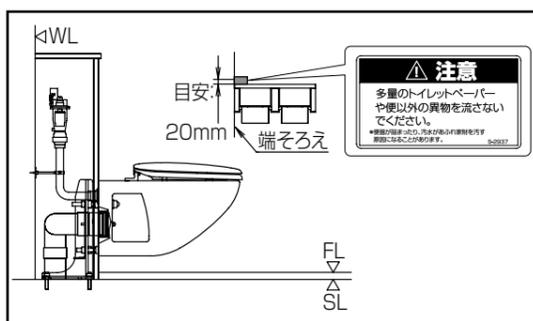
### 7 施工後の確認

- (1) フラッシュバルブを操作して便器鉢内を洗浄し、各接続部に漏水がなく、鉢内洗浄が良好であることを確認します。

※ 排水接続部の漏水点検は、数回繰り返して水を流さないと確認が困難な場合があります。

- (2) 鉢内洗浄の良否は、長さ 760 mm のトイレットペーパーを丸めたものを 7 個入れ、1 回の操作で排出できることを確認します。

- (3) 同梱の注意喚起シールを紙巻器上の壁面に張りませす。



#### 【参考】洗浄水量の確認方法

別売の水量調整治具を使用することで、正確な水量に調整することができます。

- (1) 便器内の水をすべて抜きます。  
(2) 水量調整治具を、右図のように便器上面と治具の便器ラインにくるように、便器のトラップ入口をふさぐように押し付けます。  
(3) 洗浄動作を行い、水位が確認したい水量ラインになるように調整します。

※ 洗浄水量を 8L でご使用の場合は、水位が 8L ラインになるように調整します。

#### ■ 水量調整治具の品番

- ・ C-P12P、C-P18PA の場合 : 75-3268
- ・ C-P16P の場合 : 75-2758

#### 図は【C-P16P の場合】

